

【アゼルバイジャン経済トピック第 100 号】

在アゼルバイジャン日本大使館

2022 年 8 月 3 日

JICA 海外投融資～太陽光発電事業の支援～

今般、JICA(国際協力機構)は、バクー市アラトにおける太陽光発電所(230MW)の建設・運営事業に対する融資契約を締結しました。

本件は、アラブ首長国連邦のマスダール社がスポンサーとして取り組む、アゼルバイジャンで初めての本格的な再生可能エネルギー(再エネ)プロジェクトであり、当国の電源多様化や気候変動対策、再エネ分野での民間投資の促進に資するものです。JICA は他の開発金融機関と協調する形で海外投融資により支援を行います。

アゼルバイジャン政府は、総発電容量(7.6GW)のうち再エネ(水力を含む)の割合(17%)を 2030 年までに 30%へ引き上げる目標を掲げています。この目標の実現に向け、本件を始め、日本とアゼルバイジャンとの官民協力関係がさらに進展することが期待されます。

(本件プレスリリース)

https://www.jica.go.jp/press/2022/20220803_30.html

(以上)